

4. 将来像の実現に向けた基本方針

4.1 将来像の実現に向けた3つの基本方針と分野別方針

空港臨海部の将来像の実現に向けて、以下のとおり、3つの基本方針と基本方針ごとに分野別方針を設定しました。

基本方針①: 高度な産業の集積拠点

空港臨海部の技術者と国内外の技術者が交流し、協調・競争を通じて新たな価値を創出する高度な産業の一大集積拠点を形成します。

■産業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業をはじめ、特有の高い技術力を活かす企業の成長促進。最先端技術を活かし、新たな挑戦を試みる企業の誘致・育成 ・ 内陸部・都心や海外との連携、大手企業やベンチャー企業などとの交流・協業・挑戦を促進し、継続性の高いものづくり・研究開発の場を目指す。 ・ 国内外の技術者を惹きつける多様な働き方の実現
■土地利用
<ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくりを主体とした土地利用の促進 ・ 研究開発、試作製造、実証実験などの機能を促進する土地利用誘導



図 4-1 将来像の実現に向けた基本方針①

基本方針②: 人の活動と自然の調和

空港臨海部の希少な公園や緑地、水辺空間を活かし、働く人や訪れる人に憩いとインスピレーションをもたらす、産業・観光・レジャー・自然が調和したまちを実現します。

■自然環境・レクリエーション

- ・ 都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間などのオープンスペースを活かし、区民・働く人には憩いの場として、訪れる人には多様なアクティビティを体験できる賑わいのある空間を創出
- ・ 次世代エネルギー²⁰の活用やエネルギーのスマート化²¹による脱炭素化²²の推進

■観光

- ・ 「食」や「産業資源」などの観光コンテンツの創出・活用
- ・ 舟運などによる新たな観光ルートの形成と羽田空港利用者の取込み



図 4-2 将来像の実現に向けた基本方針②

²⁰ 地球環境に対して負荷の少ない自然界のエネルギーである、太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーや水素といった新エネルギー。

²¹ 太陽光や風力など再生可能エネルギーを最大限活用し、家庭やビル、交通システムを IT ネットワークで繋げ、地域でエネルギーを有効活用する次世代の社会システム。

²² 低炭素化とは、主要な温室効果ガスである CO₂ 排出量を 1990 年に比べて 70%削減すること。脱炭素化とは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることであり、2050 年の実現が目標。

基本方針③:次世代のインフラ整備

陸・海・空における先端技術を活用した、次世代の交通・物流・通信インフラ及び交流のソフトインフラが整備されるとともに、災害時における復旧・復興の拠点を担う地域を目指します。

<p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部と近隣道路ネットワークの再構築・強化 最新技術(自動運転など)を活用した公共交通サービスレベル、配送サービスの向上
<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時に備える復旧・復興拠点の形成 エネルギー自給率の向上と大規模災害・感染症発生時のBCP強化を兼ねる柔軟性・冗長性を備えたまちの形成
<p>■ソフトインフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流・協業を円滑化するビジネスコミュニティの構築 新技術の社会実装を加速する法整備・規制緩和

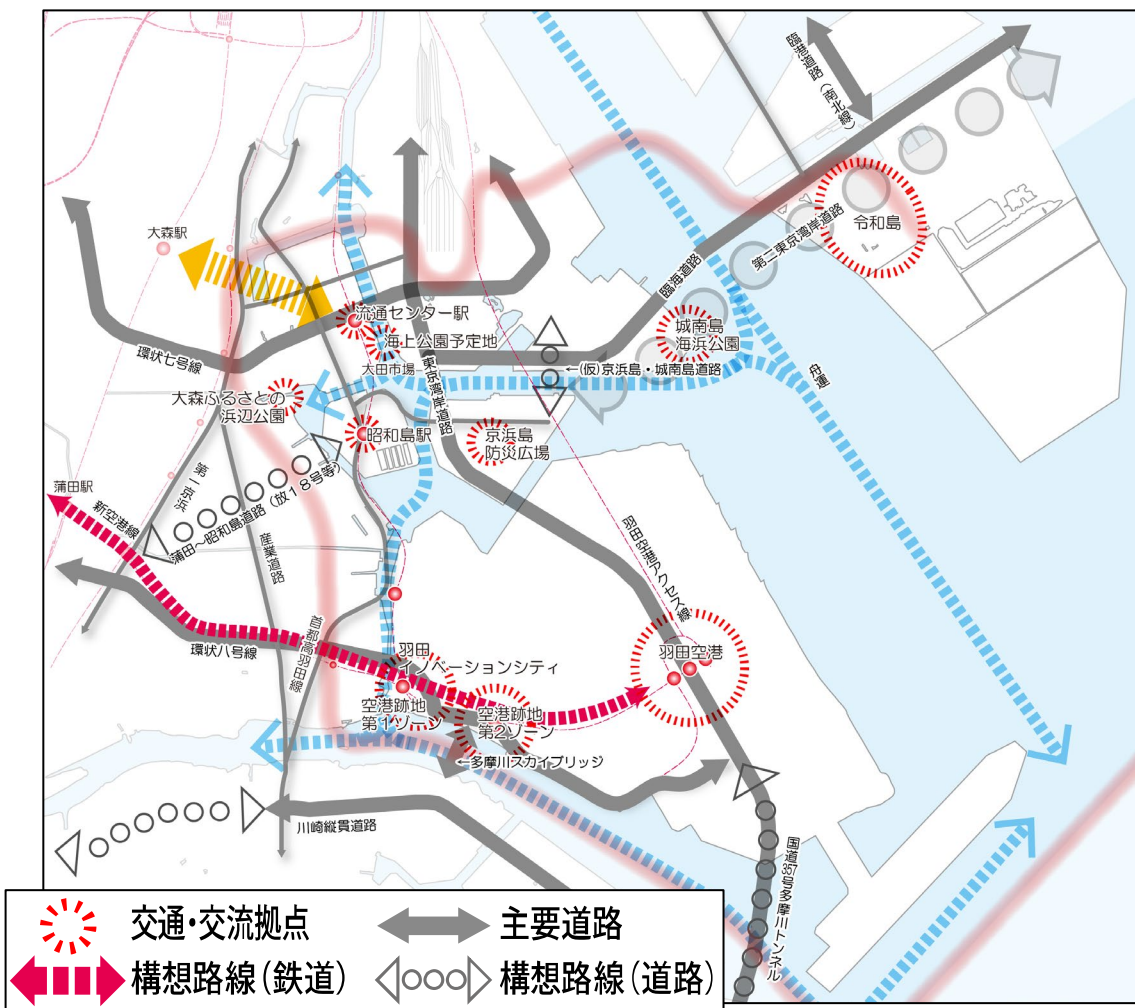


図 4-3 将来像の実現に向けた基本方針③

4.2 将来都市方針図

空港臨海部の将来像の実現に向けた3つの基本方針を、将来都市方針図として整理しました。

土地利用としては、羽田空港は「世界交流の場」、昭和島、京浜島及び城南島は「ものづくりの場」、平和島及び東海は「物流の場」、令和島は「港湾・先端テクノロジー実装の場」として位置付けています。

また、空港臨海部にある既存資源を含め、「自然の核」、「賑わいの核」、「レジャー・憩いの核」、「交通・交流拠点」を位置付けています。

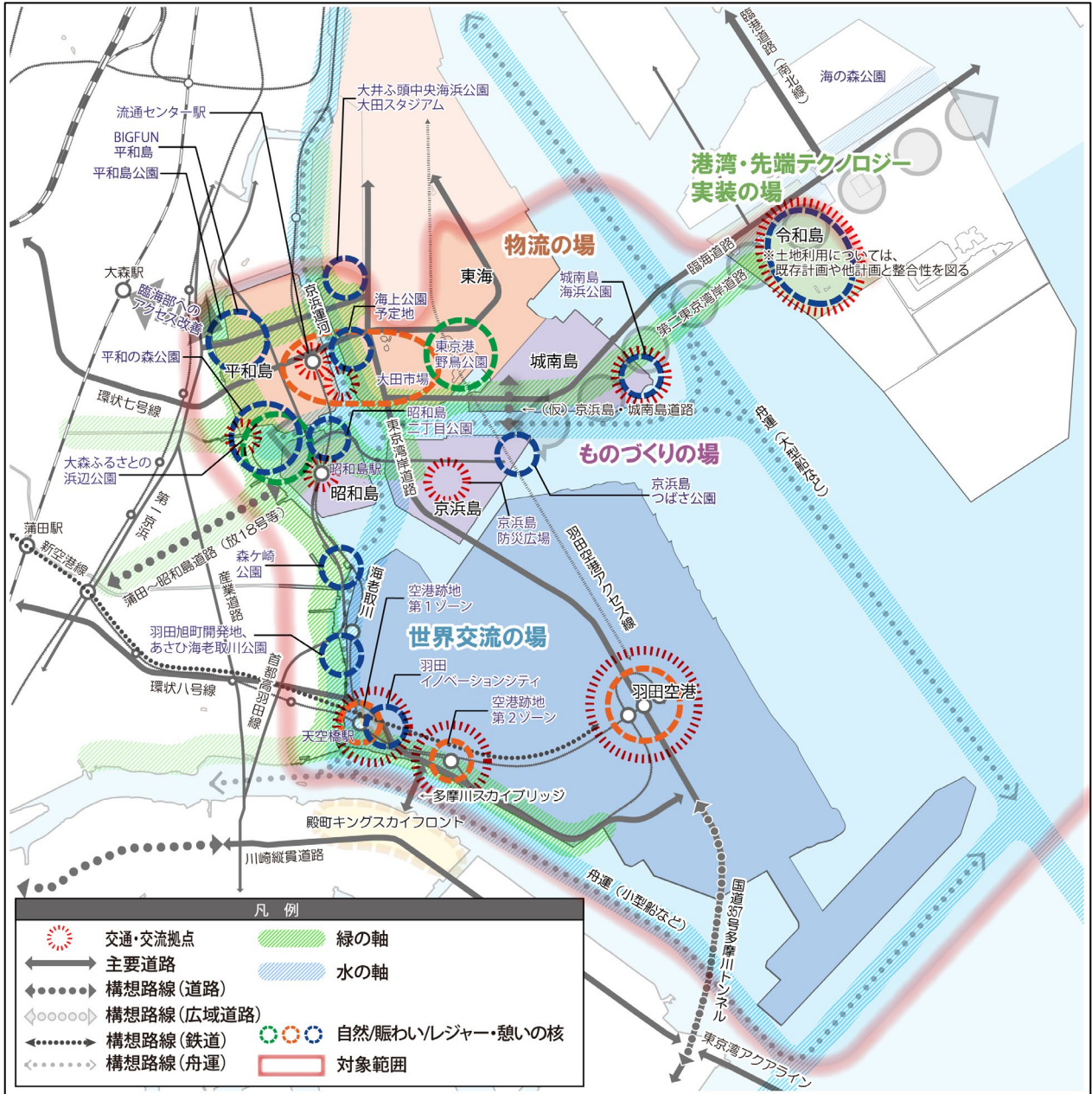


図 4-4 将来都市方針図

- 自然の核**：東京都心部近傍にありながら、貴重な自然環境に身近に触れることができる公園を自然の核として位置付ける。
- 賑わいの核**：区民、働く人、訪れる人にとって楽しく過ごせる魅力ある新しい賑わいの拠点を賑わいの核として位置付ける。
- レジャー・憩いの核**：スポーツ施設や、水辺近接の公園、区民や働く人、訪れる人が休憩する場をレジャー・憩いの核として位置付ける。
- 交通・交流拠点**：内陸部～埋立島部や島間の移動円滑化並びに人々の交流の拠点として、

- ・ 主要な交通結節点や公園等の公共施設
- ・ 民地であってすでに将来的に交通結節点としての立地ポテンシャルのある場所を対象に、交通・交流拠点として位置付ける。

「緑の軸」 核を連結する緑や散策できる道…内陸河川（内川）や呑川緑道、海辺の散策路など

「水の軸」 内陸と埋立島部、島間水面を連結する水的路（舟運ルートと一致）…海老取川、京浜運河など

4.3 3つの基本方針の狙いと相乗効果

3つの基本方針は次世代のインフラ整備を出発点として、相互に相乗効果を発揮する関係にあります。具体的には、次世代のインフラ整備では、東西軸強化、南北軸強化、周遊軸強化を進め、内陸部から空港臨海部へ、また南北の広域交通の利便性向上を図ります。これにより、区民の空港臨海部へのアクセスが容易となり、産業面では空港臨海部の産業競争力を押し上げる効果があると考えられます。

それぞれの基本方針の相乗効果により、「区民に親しまれる空港臨海部」、「高い雇用獲得力を誇る空港臨海部」となることを目指します。



図 4-5 3つの基本方針の狙いと相乗効果

4.4 2040年みらいスケッチ

将来像が実現した2040年の区民にとって身近な存在となった空港臨海部のイメージを、様々な属性を持つ区民の目線で「みらいスケッチ」として整理しました。

次のように、2040年の空港臨海部は多様な区民が活躍する場となっています。

10代 留学生

パラスポーツの聖地



- 私は海外出身で、2年前にパラアスリートの留学生としてやってきました。子供の頃交通事故にあって以来、車いす生活を送っています。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に日本のスポーツ環境整備が進んだことで、空港臨海部でも多様なスポーツ・アクティビティを体験することができます。
- 空港臨海部へ大森駅から低床バスに乗って移動します。歩道に面する部分は余裕をもって空間がとられているので、車いすでも安心して利用することができます。案内サイン・マップも、マルチリンガル対応で快適にあらゆる場所に移動できます。

20代 学生

就職先は、伝統と革新が共存する臨海部企業



- 元々は文系だったけど、高校3年で体験した区主催のオープンファクトリーが私の人生を決定付けました。これをきっかけにものづくり系の大学に進みました。
- 大学では、今いるゼミ仲間と一緒に、お試しベンチャーを立ち上げました。企業の方や行政の支援により、高度な技術を活用しながら、色々なプロトタイプを素早く作ることができました。
- 就職先は臨海部に最近できた遺伝子医療のベンチャー。匠の技が生きるものづくり企業をコアに、研究開発やベンチャー企業も続々進出してきて、伝統と革新が息づく、協働のものづくりの場になっています。
- 入社後は、毎日のランチは公園で。いろいろな種類のキッチンカーが来るので、楽しみです。

30代 自営業

ふる浜ハッピービーチウェディング



- 結婚を考えている人と一緒に区内商店街で飲食店を経営しています。週末は、臨海部の公園内にキッチンカーを出しています。
- 大森ふるさとの浜辺公園は、広々とした空・砂浜・水辺を、身近に体感できます。昭和島の工場を美しく彩る朝焼けの中、大好きな人と早朝デートを楽しんだ思い出の場所です。
- 夜は、ナイトフィッシングが楽しみです。また、改装されたレストハウスにできたお洒落なバーでお酒を楽しめます。
- そんなふたりの思い出の大森ふるさとの浜辺公園で、互いに人生で一番輝く姿を見たい。憧れだったビーチウェディングを挙げました！

図 4-6 2040年みらいスケッチ①

40代 ファミリー

週末ナンバーワン・レジャースポット・臨海部



- 週末は家族と一緒に臨海部に行きます。道路も安全で、コミュニティサイクルで20分ほど汗をかけば、大森ふるさとの浜辺公園にたどり着きます。
- 公園内にあるスポーツ施設で都内では貴重なビーチバレーが楽しめます。
- 船に乗って京浜運河まで。船上レストランでランチを済ませたあとは、大田市場場外市場へ。フラワーアレンジメント教室やせり体験ができ、家族も大喜びです。
- 今では商業施設でショッピングするより、自然の中でおもいきり体を動かす、コトやトキを過ごすのが何よりの楽しみとなっています。

50代 会社経営者

お隣さんと気軽に協業できる環境がある



- 祖父の代から続く、金属加工業の3代目です。従業員は総勢20名と小規模。でも実はねじ加工の分野では、世界中からひっきりなしにオファーが。脈々と受け継がれる熟練工の技があつてこそ。
- ここ数年で島丸ごとDXが進展する中、伝統的な「職人の技」継承のためのナレッジマネジメントが構築されています。また、島にある技術・製品開発センターでは、各企業が持つ技術にアクセスできるシステムや、お隣さんとのプロトタイプ環境が充実しています。
- 最近では、島に進出してきたベンチャー企業と協業し、複数の製品開発も進めています。今までメーカー下請けが多かったのですが、今はマーケットニーズに応えるべく、日々奮闘しています。
- ここで培った技術力・ネットワークを生かして、ここ空港臨海部から世界一のものづくり企業のトップランナーを目指していきます！

80代 熟練工

100年時代の人生が輝く場所



- 20年前、定年退職を前に、ライフシフトを決意。臨海部の工場で働き始めました。自分の能力を十分に生かすことができるこの臨海部で、今も元気に働いています。
- 大森から連節バスで移動して、更にパーソナルモビリティに乗り換え。自動運転やMaaSのサービスを利用して、渋滞も混雑もなく、スムーズにアクセスできます。また、自宅から職場までパーソナルモビリティだけでシームレスに移動することもできるため、将来的にも移動の不安がありません。
- 週末はひ孫を連れて、大森ふるさとの浜辺公園の砂浜からバナナボートに乗って海を楽しみます！

図 4-7 2040年みらいスケッチ②